

# UMLモデリング勉強会ガイド

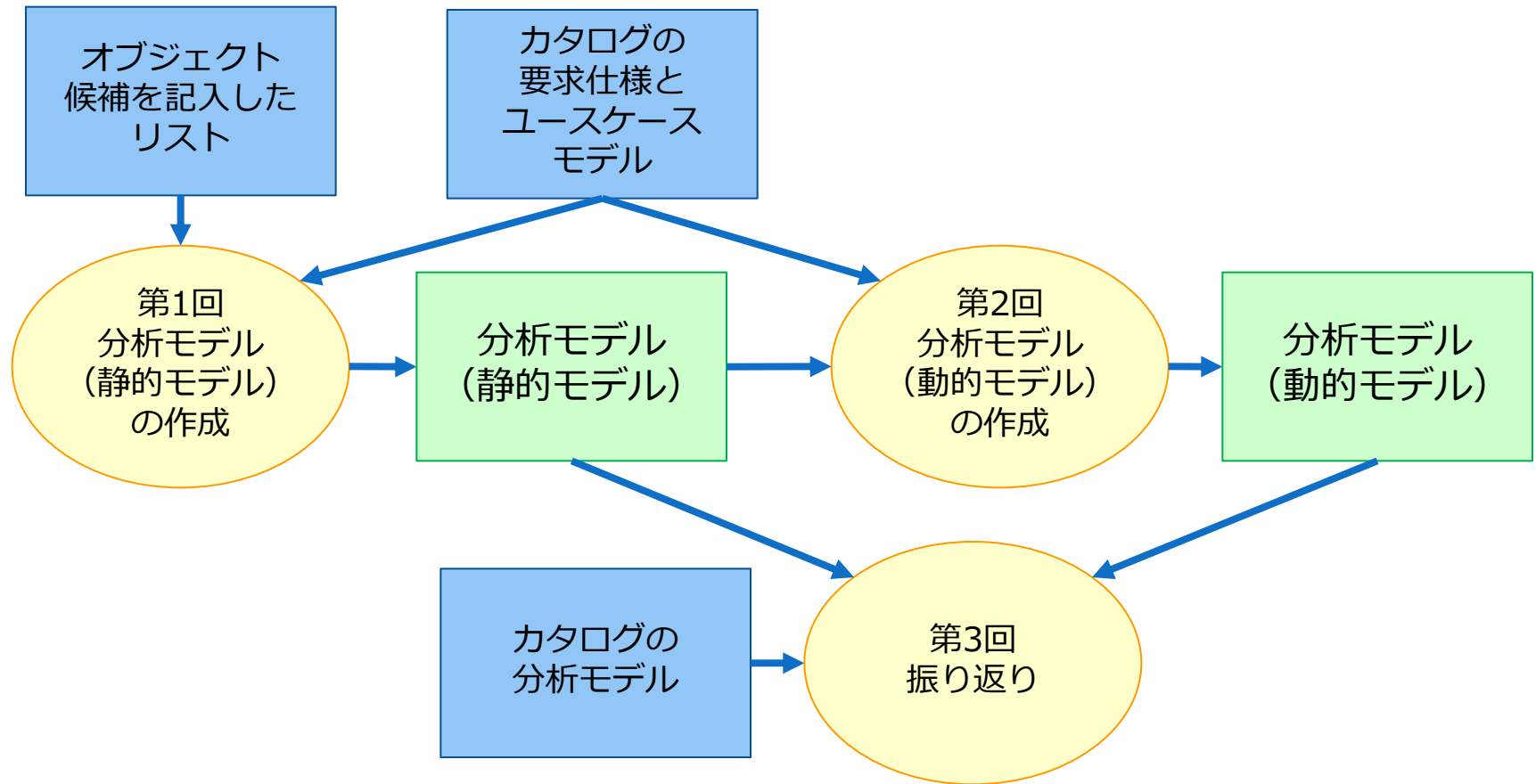
～モデルカタログを活用した勉強会のススメ～

2014年3月に勉強会ガイドをリリースする予定です

# 推奨勉強会コース一覧

コース名	対象者	目標	概要	時間
分析体験コース	座学で分析を学習した方(初学者)	分析の大まかな流れを習得	本コースは、モデリングの中心となる分析を体験してみるコースです。 入門として位置付けられます。	2時間程度 ×3回
分析コース	分析を行ったことのある方(『分析体験コース』受講相当)	クラスを抽出、静的モデルと動的モデルの整合性などモデルの質を高めるやり方を習得	本コースは、モデリングの中心となる分析をしっかり行うコースです。分析スキルの向上を目指します。	2時間程度 ×6回
【参考】設計コース	分析ができる方(『分析コース』受講相当)	設計課題を抽出/選定し、設計案の作成する設計の流れを習得	本コースは、分析コースの後段にあたるコースです。設計スキルの向上を目指します。	2時間程度 ×2回

# 分析体験コースの流れ



# 分析体験コース

## 第1回分析モデル（静的モデル）の作成

#	時間	内容
1	5分	勉強会の進め方を説明する。
2	10分	各自でカタログの要求仕様書とユースケースモデルを読む。
3	10分	グループでカタログの要求仕様とユースケースモデルについて不明点や疑問点を指摘し、ディスカッションを行い、仕様を確認する。
4	75分	グループで分析モデル(静的モデル)を作成する。ディスカッションしながら、モデルをホワイトボードまたはホワイトシートに描く。なお、時間が短いので、モデルの質が十分にならないことはやむを得ない。
5	15分	モデルを貼り出して、別グループのモデルを見て回る。または発表・質疑応答を行う。

## 第2回分析モデル（動的モデル）の作成

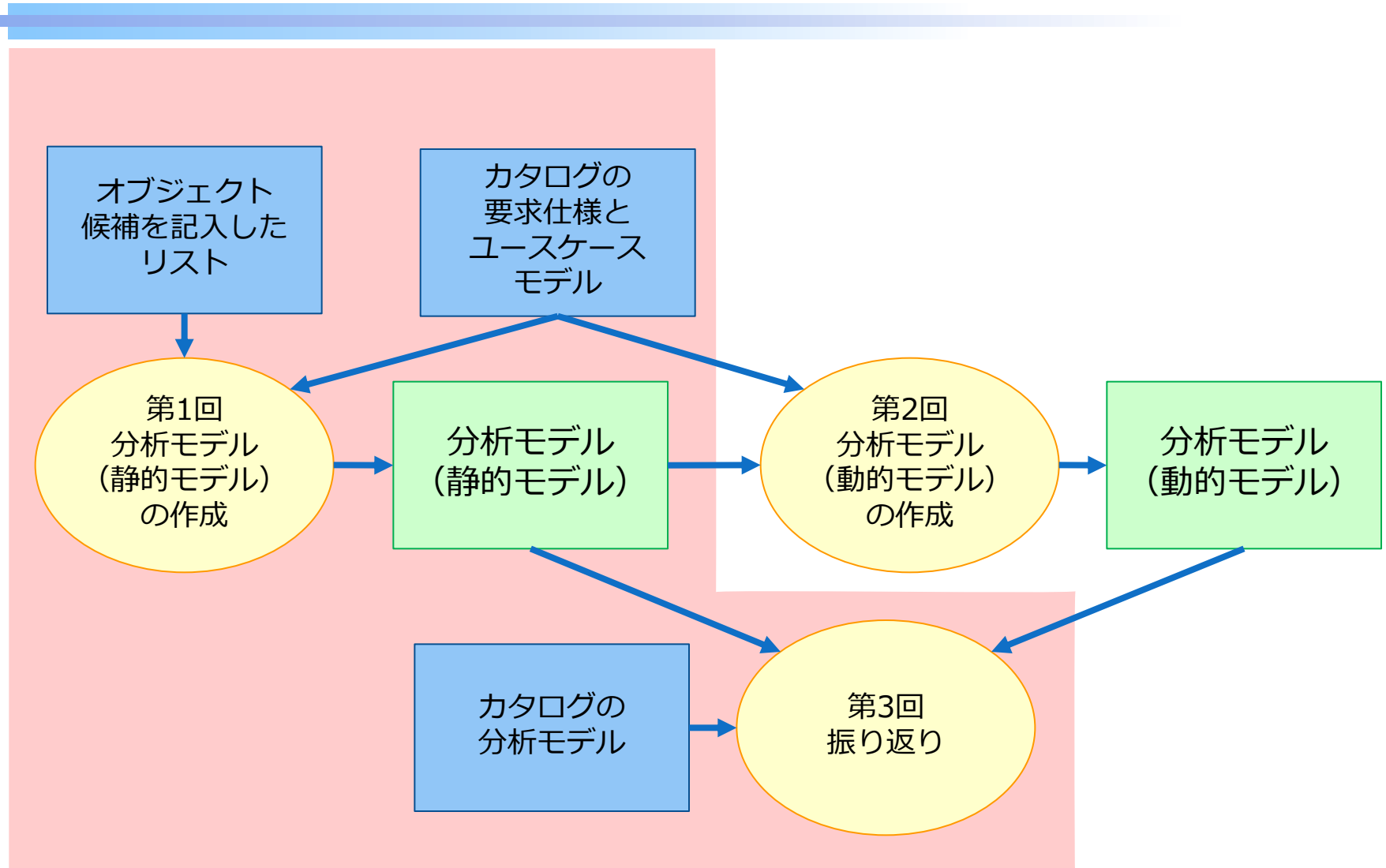
#	時間	内容
1	5分	勉強会の進め方を説明する。
2	15分	(復習を兼ねて)作成する分析モデル(動的モデル)で作成する題材を決める。例えば、まずグループでディスカッションを行い、候補を出し、全体で決める。題材としては、(1)ユースケースを実現するシーケンス図またはコミュニケーション図、(2)システムやオブジェクトの状態マシンなど。(1)と(2)それぞれ1個程度を目安とする。
3	75分	グループで分析モデル(動的モデル)を作成する。モデルは、ホワイトボードまたはホワイトシートに描く。
4	15分	モデルを貼り出して、別グループのモデルを見て回る。または発表・質疑応答を行う。

# 分析体験コース

## 第3回振り返り

#	時間	内容
1	5分	勉強会の進め方を説明する。
2	20分	各自でカタログの分析モデルを読む。
3	30分	分析モデル(静的モデル)について、グループでカタログのモデルの疑問点や作成したモデルとの相違点を指摘し、ディスカッションを行う。
4	30分	分析モデル(動的モデル)について、グループでカタログのモデルの疑問点や作成したモデルとの相違点を指摘し、ディスカッションを行う。
5	20分	KPTフレームワークなどを用いて、勉強会全体の振り返りを行う。

# 本日のワークショップの範囲



# 本日のワークショップの進め方

#	時間	内容
1	5分	勉強会の進め方を説明する。
2	15分	部会メンバが要求仕様について説明する。
3	75分	チームで分析モデル(静的モデル)を作成する。モデルは、ホワイトボードまたはホワイトシートに描く。 ・クラス図、オブジェクト図
4	15分	モデルを貼り出して、別グループのモデルを見て回る。または発表・質疑応答を行う。
5	20分	部会メンバがカタログモデルを説明する。
6	10分	部会メンバがモデルを講評する。